



はんなん
Hannan City Council

市議会だより

2024年
令和6年
12月号
NO.134

発行：阪南市議会 編集：議会広報編集委員会 〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 072-471-5680（直通）



▲令和6年11月3日（祝日）第24回はんなん産業フェアの様子

10月
臨時会

議会の新構成決まる 2

9月
定例会

令和5年度一般会計歳入歳出決算審査認定 4

一般質問 6

その他の
議会活動

南部市議会議長会議員研修会 他



はんなん市議会だより
Webサイト

第 1 回 臨時会

議会の新構成決まる

令和6年第1回臨時会を10月9日に開催し、
議会の役員等が選出されました。



議 長
なか むら 村 ひとし



副 議 長
み もと えい じ 次



監査委員
いわ むろ とし かず 和

予 算 常 任 委 員	◎角野 信和 見本 栄次	○二神 勝 浅井 妙子	山本 守	百々 麻希
決 算 常 任 委 員	◎岩室 敏和	○山本 光男	福田 雅之	畑中 譲
議会運営委員会委員	◎畑中 譲 浅井 妙子	○二神 勝 (見本 栄次)	百々 麻希	中村 秀人
泉南清掃事務組合 議 会 議 員	見本 栄次 二神 勝	岩室 敏和	山本 守	百々 麻希
泉州南消防組合 議 会 議 員	中村 秀人	福田 雅之	山本 光男	
大阪広域水道企業団 議 会 議 員	福田 雅之	※令和7年7月1日～		
大阪府後期高齢者医療 広域連合議会議員	山本 守	※令和7年7月1日～		
議会広報編集委員会 委 員	◎浅井 妙子 見本 栄次	○山本 守	角野信和	畑中 譲

※◎委員長 ○副委員長、() はオブザーバー ※議長はすべての委員会（組合議会除く）に出席する。

第1回臨時会にて可決した議案(議会役員等の選挙、選出を除く。いずれも全会一致)

・ 阪南市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

・ 専決処分事項の承認を求めることについて（専決第12号）
令和6年度阪南市一般会計補正予算（第8号）

総務事業常任委員会委員



委員長
ふくだ まさゆき
福田 雅之



副委員長
やまもと みつお
山本 光男



委員
すみ のぶひこ
角野 信和



委員
はたなか ゆずる
畑中 譲



委員
みやもと えいじ
見本 栄次



委員
いわむろ としかず
岩室 敏和

厚生文教常任委員会委員



委員長
やまもと まもる
山本 守



副委員長
もも まき
百々 麻希



委員
ふたがみ かつ
二神 勝



委員
なかむら ひでと
中村 秀人



委員
あさい たえこ
浅井 妙子

議員辞職のお知らせ（令和6年10月7日）

渡辺 秀綱議員（大阪維新の会）から議員辞職が提出され、地方自治法第126条の規定に基づき、議長において許可されました。

議員辞職のお知らせ（令和6年10月9日）

岡 やよい議員（無会派）から議員辞職が提出され、地方自治法第126条の規定に基づき、議会において許可されました。

議員の自動失職について（令和6年10月20日）

上甲 誠議員（無会派の会）が阪南市長選挙に立候補したため、公職選挙法第90条の規定により、市議会議員の職は自動失職となりました。

※議員定数の6分の1を超える欠員を補充するための補欠選挙につきましては、公職選挙法第34条第3項の規定により、前回の市議会議員選挙が訴訟され係争中は、行うことができません。

第3回 定例会

令和5年度決算を 全会一致で認定

監査委員の意見

3年度連続の黒字決算に慢心せず、ふるさと納税返礼品の発掘に繋がるような、「攻めの行政」に取り組み、財政非常事態宣言解除に向け進められたい。

決算認定

〔令和5年度一般会計歳入歳出決算〕

歳出については、197億168万3188円となり、新型コロナウイルス感染症対策に係る事業費の減少などにより前年度と比べ、4・3パーセントの減少となりました。

次に歳入については、株式等譲渡所得交付金などが増加する一方、新型コロナウイルス感染症対策関連経費などに伴う国庫支出金などが減少したことにより、200億2577万3885円となり、前年度と比べ、4・1パーセントの減少となりました。

その結果、翌年度へ繰り越すべき財源を除く、実質収支は、3億2394万8697円の黒字となりました。

本議案は、予算常任委員会に付託しました。

委員会における主な質疑・答弁は、次のとおりです。

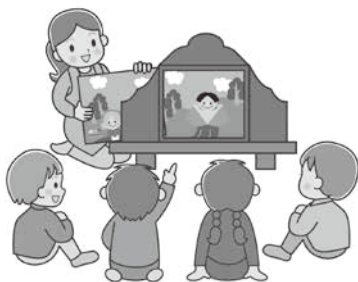
令和6年第3回定例会を9月3日から26日までの24日間の会期で開催しました。本定例会では、令和6年度補正予算等6件をはじめ、条例制定1件、条例改正2件を可決した他、令和5年度歳入歳出決算を全会一致で認定しました。

委員 保育業務支援システム導入業務委託料の事業と効果について伺う。

こども政策課長

保育業務支援システム（通称名コードモン）とは、多様化、複雑化する教育・保育施設運営を円滑にすることを目的としている。公立の2園2所に、職員は主にタブレット、保護者はスマートフォンを使って、登降園管理や園所と保護者との連絡、また帳票管理を行っている。

これにより、職員の時間が省力化され、子どもたちと向き合う時間が増加し、保育の質の向上につながっているものと認識している。



委員 健康診査4か月児、1歳7か月児、3歳6か月児の未受診者の方へのフォローはどうしているのか。

健康増進課長

都合が合わず健診に行くことのできない場合の大半は事前に連絡をいただいているが、連絡がない方については、地区担当保健師が電話連絡等により翌月の健診等を案内し、受診してもらっている状況である。中には入院中や他の自治体に住んでいるため、保護者が仕事を休めないなどの理由でどうしても健診を受けることができない場合は関係機関と連携を図り、必ず現認を行い子どもの安否確認等を行っている。

委員 はんなん共創事業コンペ受賞者アドバイザー謝金の内容について伺う。

政策共創室長

「まちを変える！持続可能なコミュニティ入門」において、研修会に講師を招き、受賞者のまちなか散歩実行委員会の方々を中心に講座を開催したものである。

内容は、実際の企業体験や資金調達クラウドファンディング等の紹介をし、後半はセッション形式で参加者たちと意見交換を行ったところである。

委員 緑ヶ丘幼稚園の周辺地区については道路の出入口が1か所しかなく、高速道路に架かる人道橋が1か所あるが、南海トラフ巨大地震等が発生すると人道橋が崩れるおそれや道路の出入口が閉ざされるおそれがあり、完全に孤立することが考えられる。この幼稚園用地、測量が終わり今後について市長の考えを伺う。

市長 緑ヶ丘の自治会の皆様方から、幼稚園用地を災害時の避難所、また近隣の子どものための遊び場になっていると話を聞いている。避難所の機能については、泉鳥取高校が大災害時の避難所として今後役割がどう果たせるかどうかというのは決められていないが、併せて意見があった人道橋、これも緑ヶ丘さんのほうから署名をもって協議に來られた。この人道橋についてもいっしょにしっかりと判断していく。

委員 病院事業会計繰出金の決算額で、令和4年度に対して131万4000円増加している。それに対して入院患者数が6142人増加、外来患者数が8510人増加、救急患者が290人増加しているが、これらの数字をどのように分析するのか伺う。

健康増進課長 コロナによる受診

控については、令和2年度から4年度にかけて見受けられたが、コロナ感染症が令和5年5月8日に5類に追加された令和5年度については、入院、外来ともに過去最高の患者数であった。令和5年度においては、市民病院は救急医療体制を整備し、救急受入れ件数を増加させ、年間2000件を目指すということを目指しており、その目標を達成している。

また、整形外科など医師を増員したことや、ロボティクスチームを活用した人工関節置換術の手術を希望される患者が令和4年度よりも増加している。さらに小児科においては、小児循環器科外来、発達外来、アレルギー外来などに取り組んでおり、近隣医療機関からの紹介や入院医療にも対応していることが増加要因である。



◎全会一致で認定

第3回定例会にて可決・承認した議案等一覧

- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第11号〕令和6年度阪南市一般会計補正予算（第6号）
- ・工事請負契約の一部変更について
- ・財産の取得について
- ・和解について
- ・民事調停の申立てについて
- ・指定管理者の指定について
- ・阪南市地域まちづくり協議会条例制定について
- ・阪南市税条例の一部を改正する条例制定について
- ・大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に係る協議について
- ・大阪広域水道企業団規約の変更に係る協議について
- ・令和6年度阪南市一般会計補正予算（第7号）
- ・令和6年度阪南市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- ・令和6年度阪南市介護保険特別会計補正予算（第2号）

- ・令和6年度阪南市下水道事業会計補正予算（第1号）
- ・阪南市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- ・令和5年度阪南市一般会計歳入歳出決算認定について
- ・令和5年度阪南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和5年度阪南市財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和5年度阪南市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和5年度阪南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和5年度阪南市下水道事業会計決算認定について
- ・令和5年度阪南市病院事業会計決算認定について
- ・令和5年度健全化判断比率について
- ・令和5年度下水道事業会計資金不足比率について
- ・令和5年度病院事業会計資金不足比率について

第3回
定例会

一般質問

2会派が代表質問を、
9人の議員が個人質問を行いました。
その主な内容を掲載します。

地域防災の推進と
消防・緊急体制の充実について

(質問者)

公明党 (福田 雅之・二神 勝) 山本 守



問 南海トラフ地震に備えて地震が起きた時の対応を今のうちに、できる部分から検討しておく必要がある。災害が発生した場合、自治体は住民の避難状況を正確に把握した上で、災害対策本部と情報を伝え合い、避難遅れの住民を支援する対応が欠かせない。今はアナログな運用が主流で、情報共有が遅れや職員の負担が重い。災害時の住民避難の見える化として避難運営をサポートするシステム導入について問う。

避難運営をサポートするシステム導入について
費用対効果を検証し、今後、システムの導入について調査研究を行う(総務部理事)

答 近年、避難所での受付業務の負担を軽減し、避難所運営を円滑に進めるための避難所受付支援システムが注目されている。避難者に対し、これまでの紙ベースの受付に加え、デジタルで行うことで、必要な支援と情報管理を迅速に行うことが可能となることから、現在、システムを提供する事業者情報やデモンストレーションを依頼している。費用対効果を検証し、今後、システムの導入について調査研究を行う。



地震と津波対策について

(質問者)

大阪維新の会 (百々 麻希・角野 信和) 渡辺 秀綱



問 能登半島地震や日向灘を震源とする地震の発生に伴って、避難場所や避難方法の見直しを行っている自治体があると報道されている。そこで、阪南市における危機管理体制、避難場所や避難方法、避難所運営における現状の課題認識と改善への取組状況を避難路への影響が懸念される建築物の耐震化促進や災害時に優先的に開放する踏切道の指定を含め、教えていただきたい。

避難路への影響が懸念される建築物の耐震化促進は
今後もし引き続き、市域の住宅耐震化の促進に努める(総務部理事)

答 避難路の指定について、関係部署及び地域住民の意向をまとめ、大阪府と調整を図り、次期地域防災計画に記載できるように検討を進めたい。しかしながら、指定には避難路沿いの民間建築物の耐震化促進が重要であることから、今後も引き続き、市域の住宅耐震化の促進に努める。踏切道の指定については、大阪府から本市と南海電気鉄道が協力して踏切を開放することに前向きな回答をいただいている。



安全・安心して住みつけられるまちづくりについて

創生会

なかむら ひでと
中村 秀人



問 「人生100年時代」に向けて、人生80年から100年になると、ますます移動弱者が増えてくるのではないかと。
高齢化が急速に進む阪南市において公共交通の観点から移動支援の確保が必要であると考えます。
今後の、移動支援について、どのように考えているのかを問う。

今後の、移動支援について、どのように考えているのかを問う
地域主体による新たな移動手段の地域交通についても、取組が進むよう、しっかりと支援をする（市長）

答 誰もが地域で安心して住み続けられるまちづくりを進める上で、移動手段の確保は大きな課題である。これまでもデマンドタクシーの実証実験の実施など新たな交通手段を検討してきたが、早期に課題を解決するため、引き続き、ライドシェアをはじめ、国や大阪府、他自治体での取組や調査研究なども踏まえ、地域主体による新たな移動手段の地域交通についても、取組が進むよう、しっかりと支援をする。



市民に寄り添える阪南市を目指して

無会派の会

しょうこう まこと
上甲 誠



問 前回の6月議会に引き続いて、これまで12年の一般質問の総ざらい後編として、行財政構造改革プラン改訂版について問う。あわせて、地域経済における企業誘致について問う。
阪南市にとって大切なことは市民に寄り添う事。一般質問40回目の総ざらいとして、私が心から愛する阪南市が市民に寄り添い、出来ない理由ではなく「やれる方法」を示し、ワクワクするまちづくりを進めることを願う。

行財政構造改革プラン改訂版について問う
市民主導で公民協働のまちづくりを進めることが目的（市長）

答 行財政構造改革プラン改訂版を作成する時に、どういう事が起こるのか、先まで睨みながら改革を進めている。ただ市民の暮らしを脅かしたり、サービスを縮小するのではなく、市民主導で公民協働のまちづくりを進めることが目的である。地域経済について、これまで様々なトップセールスを行い、成果として海洋・環境・SDGsが目に見えるようになってきたが、なかなか形になっていないことは残念である。

その他の質問事項
○未利用公有地について
○移住定住促進について



「定例会及び委員会のライブ配信」を実施！

これまで、市議会のウェブサイトでは、次回定例会のご案内や一般質問通告書、議決結果表、議会だより、定例会の「録画映像」等を掲載しています。

また、「会議録検索システム」を市議会ウェブサイトに掲載しています。これにより、本会議での内容を記録した「会議録」、委員会での内容を記録した「委員会録」をインターネットを通じてご覧いただけるようになっています。

市議会ウェブサイトには、阪南市ホームページ下段にある「阪南市議会」のボタンをクリックしていただくとアクセスできます。

多くのアクセスをお待ちしています。



南海トラフ地震 臨時情報について

大阪維新の会

すみの 角野 信和



問 8月8日、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表された。必ず地震が発生することを伝えるのではないとした上で、防災対策推進地域に指定されている都道府県と市町村に、地震への備えを改めて確認してほしい、と呼びかけた。

「南海トラフ地震臨時情報」が発せられた時、防災対策推進地域に指定されている本市の基本的な対応についてお聞きする。

臨時情報の発表時点で災害警戒本部を設置し、迅速に取るべき対策の情報収集を行った（市長）

本市の基本的な対応についてお聞きする

答 相対的に地震の発生が高まっている情報と災害が迫る状況下において何をすべきかを市民の皆様にお知らせすることが重要と考え、臨時情報の発表時点で災害警戒本部を設置し、迅速に取るべき対策の情報収集を行った。南海トラフ巨大地震を見据え、これまでに以上に加えて有効な対策を図り、初動対応の迅速化や備蓄の強化、避難所の迅速な開設など、安全で安心な災害に強いまちづくりの推進に取り組む。



スズメバチの巣駆除について

公明党

ふくだ まさゆき 福田 雅之



問 スズメバチは攻撃性が高く、特に活動最盛期は刺される危険度が高いため、駆除業者に依頼することで安心・確実に蜂の被害から逃れることができる。しかし、スズメバチの巣駆除は特殊な作業のため巣が大きい場合や駆除しづらい場合は費用が高額となる。巣の撤去が遅れることにより周辺住民、特に児童生徒がスズメバチによる危険にさらされることにもつながる。蜂の巣駆除の補助についてお聞きする。

一般財源を伴う恒久的な新たな補助金創設は、他の施策との優先順位を踏まえ、判断していく（市民部長）

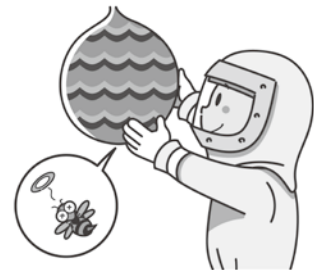
蜂の巣駆除の補助についてお聞きする

答 ハチの駆除には、専門的な知識や技術が必要となり、危険が伴うため、市職員による駆除はできないが、市内業者の連絡先を案内している。

補助金の創設については、高齢化の進展等を踏まえると生活環境の向上につながるかと認識しているが、厳しい財政事情の中、一般財源を伴う恒久的な新たな補助金創設は、他の施策との優先順位を踏まえ、判断していく。

その他の質問事項

○デジタル田園都市国家構想の実現に向けた取組について



議会日誌

7月

3日 泉州南消防組合議会議会運営委員会・議会全員協議会

4日 長崎県平戸市議会より行政視察（議会基本条例等について）

9日 広報編集委員会

10日 泉州南消防組合議会臨時会

11日 泉州南消防組合議会行政視察

16日 南部市議会議長会総会

18日 南部市議会議長会議員研修会

19日 議員連絡会・第一阪和国道複線化連絡協議会

22・23日 南部市議会議長会先進都市視察（東京都墨田区・埼玉県さいたま市）

25日 和歌山県白浜町議会より行政視察（議会基本条例等について）

29日 大阪・関西万博における状況説明会

31日 総務事業常任委員会

8月

1日 厚生文教常任委員会

7日 京都府南丹市より行政視察（市財政健全化取組について）

19日 泉州南消防組合議会議会運営委員会・議会全員協議会

20日 大阪府市議会議長会総会・研修会

21日 議員連絡会・厚生文教常任委員会視察（学校給食センター）

23日 泉州南消防組合議会定例会

28日 議会運営委員会

まちの「住みやすさ」「豊かさ」について
～「住みよさランキング」への市のとらえ方～

市民くらぶ

あさい 浅井
たえこ 妙子



問 民間企業による全国「住みよさ」ランキングがクローズアップされ、「全国ワースト2位」「住みにくい、元気のないまち」という声に、市民の方の中には、阪南市の未来に不安を持つ方がいらつしやる。

そもそも、「住みよさ」ランキングとは何なのか、市としてどうとらえているのか、また、阪南市の「豊かさ」「持続可能性」について、どう考えているのかをお聞きます。

客観的指標の1つとして受け止めている(市長)

「住みよさ」ランキングとは何なのか

答 客観的指標の1つとして受け止めている。算出に用いられるデータは、定量的な指標で、評価するには、論理的根拠が不明確で、既に国では公表が行われなくなっている。まちの評価は、ハード中心の評価から地域社会の評価へ重点を移すなど、経済面以外の市民幸福度や市民活動への積極参加などの評価も行われるべきである。引き続き、誰もが住みたい、住んでよかったと感じる持続可能なまちづくりを推進する。



▲阪南SDGs万博の様子

外部人材の登用による
市役所の活性化

市民くらぶ

いわむろ 岩室
としがす 敏和



問 先日、人口戦略会議より、2050年までに消滅する可能性のある744の自治体が公表され、本市はその中に入った。消滅可能性自治体からの脱出は、何よりも急務である。そのため、外部人材の登用にかかる戦略を策定し、①外部人材の全国公募②企業版ふるさと納税の活用③人材登用の多彩なネットの活用。等による、経営能力にすぐれた多くの資格をもつ、外部人材登用の提案をするが、どうか。

行政課題の解決に必要な外部人材の登用を検討する(市長)

人材登用の多彩なネットの活用を提案する

答 ①採用を検討する際、全国公募をはじめ有効な情報発信の手法の検討が必要②企業版ふるさと納税人材派遣型の法期限延長の状況を見極めつつ、連携企業などに依頼するなど、さらなる外部人材の確保に努める③ご提案の内容は、本市のPRコンテンツなどの更新情報の通知が可能となり、求める人物像に合致する人材を確保することが可能となるため、外部人材の登用の、手法の一つとして考えていきたい。



9月

- 3日 本会議(1日目)
- 4日 本会議(2日目)
- 5日 本会議(3日目)
- 9日 総務事業常任委員会
- 10日 厚生文教常任委員会
- 11日 予算常任委員会
- 12日 決算常任委員会
- 20日 議員連絡会・会派代表者会
- 26日 本会議(最終日)

10月

- 1日 千葉県館山市議会より行政視察(海洋教育について)
- 3日 会派代表者会・議会運営委員会
- 9日 臨時会
- 11日 近畿市議会議長会議長研修会
- 16日 千葉県銚子市議会より行政視察(重層的支援について)
- 21日 議員連絡会
- 23日 香川県 坂出市議会より行政視察(藻場・アマモ場の再生について)

人口減少を乗り越える 取組について

大阪維新の会

もも まき
百々 麻希



問 人口減少は本市のみならず日本全体の課題である。若者の流出を食い止める、移住定住を促進していくためには、その地域での生きがいを見つけていくことは必須である。デジタル田園都市国家のもと様々なライフステージでも働きやすい環境をつくり地域の賑わいを創出する取組を提案する。また教育については、更なるICT教育の充実と海洋教育を通じ地域とのつながり等を進めていただけるようお願いする。

働きやすい環境をつくり地域の賑わいを創出する取組を提案する
新たに策定する「阪南市デジタル田園都市構想（市長）総合戦略」を進める

答 コミュニティビジネスの起業支援、就労機会のマッチング支援の取組など、多様な働き方を推進する環境を整え、子育て支援の強化や暮らしの質的向上が図れるよう、新たに策定する「阪南市デジタル田園都市構想総合戦略」を進める。子どもたちを中心として、楽しみながら海洋教育を学び、郷土愛を育むことができるよう、地域の方々の協力を得ながら、今後も引き続き取組を進展させる。



妊産婦さんへの金芽米の提供

無会派

やまもと みつお
山本 光男



問 泉大津市では「マタニティ応援プロジェクト」として金芽米（東洋ライス株式会社）を妊産婦さんに提供されている。田尻町でも「お米の定期便事業」として子育て世帯の経済的負担軽減と子供家庭の健康づくりのために栄養価が高い金芽米を提供されている。本市の子育て支援事業として両事業を参考に取り入れてみてはどうか。

本市の子育て支援事業として両事業を参考に取組り入れてみてはどうか
本市の財政状況等に配慮しつつ、事業の優先性を踏まえた検討が必要（健康福祉部長）

答 本市で同様の事業を実施すると、300万円から600万円程度の事業費が必要と見込んでいる。経常的な費用となることから、本市の財政状況等に配慮しつつ、事業の優先性を踏まえた検討が必要であると認識している。今後も引き続き、妊娠期から出産・子育て期まで一貫して相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援を一体として実施する。

その他の質問事項
○街づくり
○DX業務



政務活動費の交付実績を、 阪南市議会ウェブサイトにて公開しています。

議員ごとの政務活動費の交付状況及びその使途、領収書等について、現在、直近令和5年度分までを公開しています。
市議会ウェブサイト、「政務活動費について」よりご覧ください。



あなたも議会を傍聴しませんか

市議会には定例会（3月・6月・9月・12月）、臨時会（必要の都度）と委員会があります。傍聴には難しい手続きは不要です。当日、議会事務局にて受付（住所、氏名等記入）していただくだけで自由に傍聴できます。議場の定員は34名、委員会の同室傍聴は先着順4名（受付開始時間は8時45分から）です。

また、定例会は委員会室や市役所ロビーでテレビ中継、委員会は委員会室でテレビ中継も行っています。どうぞお気軽にお越しください。

傍聴された方を対象にアンケートを実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。

なお、9月定例会の傍聴者数は、延べ13人でした。



会議録は、図書館・公民館・情報公開コーナー、または市議会ウェブサイトで閲覧できます。

なお、9月定例会の会議録は11月末頃に完成予定です。

次の定例会は、
12月3日(火)から
の予定です。

詳しくは議会事務局まで

☎471-5680(直通)

安全・安心なまちづくりに ついて

公明党

ふたがみ
二神

かつ
勝



問 南海トラフ巨大地震等において、これまでペットの避難について質問をしてきたところであるが、最近では、災害時にペットを避難所へ受け入れる自治体が増えてきている。また、飼い主とペットが屋内で一緒に過ごせる避難所施設を導入する動きもある。そこで、阪南市では現在、ペット避難の取り扱いについて、どのようにお考えかまた、これまでの進捗状況をお聞かせ願う。

答 ペットとの同行避難を基本とし、避難所となる施設管理者と協議を重ねている。現在、同伴避難については、理解をいただくには至っていないが、同行避難については、理解をいただき調整が整っている。また、避難所における飼育ルールや飼育管理などを定めたペット同行避難に係る避難所における手引についても作成したところであり、今後はこの手引に沿ったペット受入れが実施できるものと考えている。

今後はペット同行避難に係る避難所における手引に沿った
ペット受入れが実施できるものと考えている（総務部理事）

ペット避難の取り扱いについて、どのようにお考えか



○定額減税・給付金等について
その他の質問事項



請願・陳情の出し方

請願書、陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ① 請願（陳情）書は、その件名、要旨及び理由を簡単に、わかりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、提出者の住所、氏名を書いてください。
- ③ 請願書は1人以上の紹介議員が必要で、表紙に署名または記名してください。
- ④ 紹介議員がないときは、陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は簡単な略図・図面等を付けてください。

《記入例》

（表紙） ※（請願の場合） 紹介議員 氏 名 ○○に関する請願（陳情） 請願（陳情）者 住 所 氏 名	（内容） ○○に関する請願（陳情） （要旨） （理由） 令和 年 月 日 阪南市議会議長（氏名）様
--	---

※請願・陳情に記載された個人情報（住所、氏名等）については、会議録等へ掲載されるほか、行政文書として情報公開の対象となりますので、ご了承ください。

南部市議会議長会

議員研修会

日時…令和6年7月18日（木）

場所…泉佐野市立文化会館

講師…跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授 鍵谷 一氏

【研修の内容】

「新たな自治体防災対策と議会、議員の役割」を題材に、近い将来、起こるとされている南海トラフ大地震に備えた、災害時の議会・議員の使命や応急対策期の議員心得などの講義を受けてきました。



▲南部市議会議長会議員研修会の様子

行政視察に

お越しいただきました

日時…令和6年7月25日（木）

場所…阪南市役所3階 全員協議会室

相手方…和歌山県白浜町議会議会運営委員会

【視察の内容】

・議会ペーパーレス化と業務効率化の取組について
・議会基本条例制定に向けての取組について



▲和歌山県白浜町議会視察対応の様子

厚生文教常任委員会

学校給食センターの 改修工事を現地視察

日時…令和6年8月21日（水）

場所…阪南市学校給食センター

【視察の内容】

昨年6月から始まっている給食センターの改修工事について、厚生文教常任委員会及び自主参加議員の全議員出席の下、進捗状況等を施工業者から説明を受けるとともに、現地を確認してきました。



▲工事中の学校給食センターでの視察の様子

編集後記

今年も残すところあと1カ月となりました。年末年始の予定が気になる時期です。

議員の任期最後の年となりますこのたび、議会広報編集委員会の委員長に就任いたしました。議員2年目に、傍聴に来られた方へのアンケートを実施して5年、なかなか議会広報に反映できずにいますが、今年1年、みなさんからいただいたご意見を生かしながら、より興味深く読んでいただける議会だよりをめざしていきたいと思います。

「こんな記事が読みたい」「ここがわからない」など、積極的な感想やご意見、ぜひ議会事務局までお寄せください。（浅井 妙子）

議会広報 編集委員会委員

委員長	浅井 妙子
副委員長	山本 守
委員	角野 信和
委員	畑中 譲
オブザーバー	
議長	中村 秀人
副議長	見本 栄次

一意見

をください

本誌が、皆さんにとってより身近なものになりますよう、内容やレイアウトについてのご提言等なんでも結構ですので、ご意見・ご感想がございましたら、左記までお寄せください。

〒599-1029

大阪府尾崎町35番地の1

議会広報編集委員会

TEL 471-5680（直）

e-mail gikai-syomu@city.hannan.lg.jp